

令和7年度 大阪府立生野支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時	令和8年2月10日(火) 10:00~11:30	
場所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委員	多田 龍弘、宮下 敬史、早野 眞美、永井 隆、半田 工、奥村 貴寿
	学校	国津 賢三(校長)、水川 久美子(教頭)、長尾 博行(教頭)
		古本 景将(首席)、中野 貴啓(中学部主事、首席) 森 大介(高等部主事、首席)、岩城 智也(首席)、北川 裕紀子(小学部主事)
	傍聴人	1名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長あいさつ 2. 令和7年度 学校教育自己診断についての報告 3. 令和8年度 学校経営計画及び学校評価 	
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長あいさつ 今年度の取組み概要の紹介とともに、本日の議題紹介を行った。 2. 令和7年度 学校教育自己診断についての結果考察 今年度の学校教育自己診断は、オンライン回答方式へ変更したことにより、回答率が低下したものの、回収した全体の中では肯定的評価が90%以上と非常に高い評価となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理に関して、過去の事案を踏まえ、情報管理の徹底や意識向上のための研修が継続されていることが説明された。委員からは「情報管理は人権保護に直結するため、全職員への研修を継続してほしい」との意見が示された。 ・ICT機器の活用に関して、機器活用に関する管理を継続して徹底してほしいと意見が挙がり、校内研修のさらなる充実が必要であることが確認された。 ・アンケート方法の改善に関して、多様な保護者が回答しやすい方法(紙との併用など)を検討してほしいとの要望があった。 ・教員の専門性向上に関して、ポジティブ行動支援等にとどまらない、障がい特性理解や行動分析などの多様な専門性を学校全体で共有する体制づくりが必要とする意見が示された。 ・地域・外部機関との連携に関して、就労支援や福祉・医療機関との連携が進んでいるが、在学中から継続的な連携を深める必要性が確認された。 3. 令和8年度 学校経営計画及び学校評価 令和8年度の学校経営計画は、時間外在校等時間が720時間を超える教員を0にするという項目を追加した。教職員の健康を守るための業務整理などを行っていき、チームとして子どもたちを支えられるように取組みを進めていく旨を説明、承認を得た。 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・移転に向けた取組みは重点的に取り組んでほしい。 ・人権尊重の観点では、外国ルーツの方も多地域であるので、しっかり研修等で研鑽を深めてほしい。研鑽も深めつつ、地域連携の推進の観点では、支援学校について知らない人たちも多いので、自然な無理のない交流を通して知ってもらおうといい。 ・教員の専門性向上では、今までに取り組んできたポジティブ行動支援について、子どもたちと接する際の一つの指標として考えて多様な専門性を身に付けてほしい。 	
協議資料	令和7年度「学校教育自己診断」、令和7年度「学校経営計画」、令和8年度「学校経営計画」	
備考	学校見学	